

※デザインはイメージです。



01 富士スピードウェイ西ゲート

オリンピック・パラリンピック自転車ロードのメイン会場であり、オリンピックでは数少ない有観客会場のひとつとなった。



04 明神峠

平均斜度10%、最大斜度18%の明神峠は、オリンピック自転車競技男子ロードレースの最大の勝負ポイントとして注目を集めた。



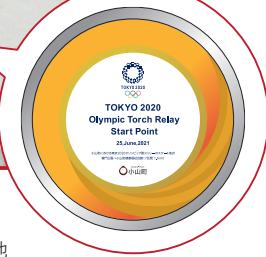
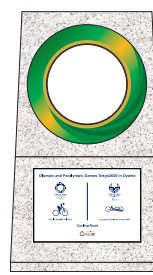
03 須走本通り

町内で唯一、街中が大会コースとなり、沿道の住民を含む多くの方々がコースサポーターとして大会を支えた。



02 棚頭交差点

自転車競技ロード全日程で大会コースとなり、沿道の2,020㎡にマリーゴールド20,000本を植栽して選手や関係者のおもてなしを行った。



05 豐門公園

オリンピック聖火リレーの出発地
(ミニセレブレーション会場)と
なり、健康福祉会館までの1.1km
を7人のランナーが聖火を繋いだ。